

利用規定



AOBA-JAPAN INTERNATIONAL SCHOOL

インターネットは、適切に使用されれば、学習を大幅に向上させることができる強力なツールです。

アオバジャパン・インターナショナルスクールは、生徒の学習意欲を高めるために、キャンパス内でのインターネットアクセスを提供することを約束します。生徒がインターネットやデジタル教育ツールを安全に使用できるようにするためには、学校コミュニティにかかわるすべてのメンバーが注意を払う必要があります。デジタル環境を含む学校生活の中で、生徒を危険から守ることは、アオバの職員と教員の責任です。また、これらの分野に関する日本の法律を遵守することも、アオバの責任です。

- 個人情報保護法 2017年
- 児童買春・児童ポルノ禁止法 2005年
- 犯罪捜査のための通信傍受に関する法律 1999年
- 肖像権 2005年

当規定は、アオバの生徒のインターネットへのアクセスと使用、およびインターネットの使用に関する潜在的なリスクから生徒を最大限に保護することを目的とした、本校の実施の詳細、実践内容、およびその手順を規定するものです。

この利用規定の目的は、生徒が安全かつ効果的な方法で、学校から提供される学習機会を享受できるようにすることです。インターネットの使用およびアクセスは、アオバが提供するリソースであり特権であるとみなされます。したがって、本校の利用規定が守られない場合、この特権は取り消され、利用規定に記載されているような適切な措置が取られます。

コンテンツフィルタリング、Webブラウジング & ダウンロード

アオバでは、ゲームやYouTubeを含む数百万ものウェブサイトや、ブログなどのウェブサイトへのアクセスを許可していますが、アルコール、アダルトコンテンツ、ギャンブル、暴力などのカテゴリーに属するウェブサイトへのアクセスはブロックしています。

生徒は、卑猥なもの、違法なもの、憎悪に満ちたもの、その他の好ましくないものを含むインターネットサイトを意図的に閲覧してはいけません。

教室内で不適切なコンテンツに誤ってアクセスした場合、生徒は教師に報告するものとします。

学校内の教室外で不適切なものにアクセスした場合でも、生徒は担任の先生に報告するようにしてください。

生徒は、インターネット上の情報を、作成者や出典を明らかにすることなく引用してはいけません。

原則として、生徒はアオバのインターネット接続を教育およびキャリア開発の活動にのみ使用するものとします。

電子メール、メッセージ

オンラインコミュニケーションは、必ず生徒に割り当てられたEメールアカウント行わなければいけません。個人のEメールアカウントを学校内で使用することは認められません。

いかなる場合でも、メールアカウントのログイン情報を他の生徒と共有してはいけません。

違法なもの、わいせつなもの、中傷的なもの、他人を困らせたり脅したりするような内容のメールを送信してはいけません。

生徒は、怪しげな電子メールを開かないようにしてください。

疑わしい場合は、知らない送信者からの電子メールを開く前に、教員に尋ねてください。

GoogleハングアウトのようなP2Pメッセージを使用する際には、登校前、登校中、登校後を問わず、学校生活のあらゆる場面で適用されるすべての行動規範が同様に適用されます。

BYODと携帯電話

BYOD(Bring Your Own Device)プログラムでは、生徒が自分のApple製ノートパソコンやiPadを学校に持ち込んで、授業や学習活動の補助に使用することができます。

1. 生徒には、個人所有のデバイスを常に適切に使用する責任があります。学校は、個人のデバイスやその使用に関して、いかなる責任も負いません。
2. 生徒／保護者は、破損、修理、交換を含め、個人所有のデバイスに対して責任を負うものとします。
3. 学校は授業時間中にデバイスを検査する権利を有します。
4. 個人所有デバイスに関する学校の方針や規則に違反した場合、学校が決定する特定期間中、学校でのデバイスの使用を継続することができなくなり、懲戒処分を受けることがあります。
5. 生徒は学校で、学習関連の活動にのみデバイスを使用することができます。
6. 生徒は、授業中のデバイスの使用に関して、教師の要求に従わなければなりません。
7. 生徒はデバイスを使って、他の教師や生徒の写真やビデオを記録、送信、投稿することはできません。学校で記録された画像やビデオは、教師の許可なしに送信または投稿することはできません。
8. 生徒は、本校のワイヤレスネットワークとコンテンツフィルタリングされたブロードバンドを使用することができます。携帯電話のネットワークなど、その他の「フィルタリングされていない」公衆無線接続の使用は、学校では認められません。
9. 各ユーザーは自分のデバイスに責任を持ち、責任を持って適切に使用する必要があります。盗難、紛失、破損したデバイス(デバイス内のデータの紛失や破損を含む)について、アオバは一切の責任を負いません。学校の職員は、生徒が個人のデバイスを安全に保つ方法を確認する手助けをしますが、個人のデバイスを安全に保つための最終的な責任は生徒が負うことになります。
10. アオバは、学校が承認した授業関連のデバイス使用に際して発生する可能性のある、デバイスアカウントへの請求について責任を負いません。

画像と動画

デジタル画像技術の開発により、スタッフや生徒が自分で録画した画像やインターネットからダウンロードした画像をすぐに使用できるようになり、学習に大きなメリットが生まれました。

しかし、スタッフ、保護者、生徒は、デジタル画像をインターネット上で公開することに伴うリスクを認識する必要があります。このような画像は、ハラスメントやプライバシーの侵害を引き起こす可能性があります。デジタル画像はインターネット上に永久に残る可能性があり、短期的または長期的に個人に害を及ぼす可能性もあります。

写真やビデオを撮影する際には、適切な服装であること、個人や学校の評判を落とすような行動に参加していないことに留意してください。

アオバでは、生徒は他人の画像を本人の許可なく撮影、使用、共有、公開、配布してはいけません。

アオバの敷地内や学校のアクティビティに参加しているときの写真やビデオの撮影は、スタッフの明確な許可がある場合にのみ許可されます。

学校内外を問わず、アオバコミュニティの他のメンバーに危害を加える意図で、画像、動画、その他のコンテンツをオンラインで共有してはなりません。

露骨な画像、特に生徒や未成年者の露骨な画像を共有することは、決して許されない、違法な、禁止されている行為であり、関係者に深刻な影響を与えます。他の生徒の露骨な画像を共有した場合、自動的に停学処分となります。

ネットいじめ問題

この種のいじめはますます一般的になり、進化しています。ネットいじめとは、テキスト、ソーシャルネットワーキングサイト、電子メール、インスタントメッセージ、アプリ、ゲームサイト、チャットルームなどの情報通信技術を利用して行われるいじめです。

不適切なメッセージや人を傷つけるメッセージの標的にされるというのが、最も一般的なネットいじめの形です。ネットいじめは、テクノロジーを使っていじめ行為を行うため、顔を合わせる必要がなく、昼夜を問わずいつでも発生する可能性があります。

多くのいじめは、ネットいじめによってさらに深刻になる可能性があります。例えば、対象者に同性愛嫌悪のテキストメッセージが送られたり、セクシュアリティ、外見、民族などについて否定的なコメントが書かれた写真が投稿されたりすることがあります。

生徒たちは、大人が知らない、監視の目が届かない方法でコミュニケーションをとることが多くなっています。このようなテクノロジーの性質上、デジタルコンテンツは、ほとんど瞬時に非常に多くの人に共有され、閲覧される可能性があり、永久に削除することはほとんど不可能です。ネットいじめは、家庭や夜間に行われることが多いですが、学校もその影響を受けます。

ネットいじめとは、他の生徒やスタッフに危害を加えたり、嫌がらせをしたり、恥をかかせたりする目的で、ネット上で繰り返し活動することと定義されています。ネットいじめは、受け入れられない、絶対に禁止されている行為であり、関係者に深刻な影響を与えます。

主な引用元:

<https://s3-eu-west-1.amazonaws.com/client-castleknockcc/wp-content/uploads/2013/07/AUP-2017-2020.pdf>

その他の例:

<https://www.k12blueprint.com/sites/default/files/Acceptable-Use-Policies.pdf>

<http://mercyinchicore.ie/drupal-7.15/node/47>

アオバはどのようにして安全なデジタル学習環境を確保しているのですか？

アオバジャパン・インターナショナルスクールでは、生徒のデジタルセーフティとセキュリティを最重要視しています。

最新のネットワークインフラとフィルタリングソリューションを用いて、ICTエンジニアが学校内のネットワークの安全性を確保しています。

さらに、すべてのスタッフと教員は、安全で責任あるインターネット利用のためのトレーニングを受け、教育活動の中でこれらのスキルを実践しています。

また、本校の教員の多くは、デジタルリテラシーと教育技術の世界的リーダーとして認められているGoogle Certified EducatorsとApple Distinguished Educatorsを取得しています。

重要事項:

- 1.アオバICTは、生徒がアクセスするコンテンツを個人レベルで管理するわけではありません。
- 2.アオバICTは、生徒のデバイスにソフトウェアをインストールしたり、ペアレンタルコントロールを設定したりしません。
- 3.アオバ教員には、教室でのデバイスおよびインターネットの使用を監視することが求められます。
- 4.保護者には、学校外でのデバイスやインターネットの使用を監視することが求められます。
- 5.フィルタリングポリシーは、学校指導者によって見直され、承認されます。また本校は、いつでもフィルタリングポリシーの見直しと調整を行うことができますものとします。

ネットワークアクセスと安全性

アオバのキャンパスでは、強力なファイアウォール装置を使用して、学校ネットワーク上のアンチウイルス、脅威防御、フィルタリングを個別に制御しています。

<https://www.cyberoam.com/webfiltering.html>

ファイアウォールは、薬物、銃器、アダルトコンテンツなど、不適切なコンテンツや有害な可能性のあるコンテンツへのアクセスを防ぎます。

生徒が学校でインターネットにアクセスできるのは、アオバ生徒用ネットワークを介してのみです。このネットワークは、Firewallによって保護されたセキュリティおよびフィルタリングの対象となります。

このネットワークを利用するには、MDM(モバイルデバイス管理)システムに登録する必要があります。

登録されていない場合は、アオバでインターネットにアクセスすることはできません。

<https://meraki.cisco.com/solutions/mobile-device-management>

ペアレンタルコントロール

ペアレンタルコントロールは、学校側が強制するものではありません。

保護者の方は、お子さんの年齢や家族の価値観に基づいて、お子さんのデバイスにどのような保護や制限を加えるべきかを慎重に検討されることをお勧めします。

生徒のデバイスにペアレンタルコントロールを適用するには、いくつかのオプションがあります。

macOS ペアレンタルコントロール

英語: https://support.apple.com/kb/PH25799?locale=en_US

日本語: https://support.apple.com/kb/PH25799?locale=en_US&viewlocale=ja_JP

macOS コンピュータの使用監視

英語: <https://support.apple.com/guide/mac-help/monitor-childrens-computer-usage-mchlp2911/mac>

日本語:

<https://support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/monitor-childrens-computer-usage-mchlp2911/mac>

iOS ペアレンタルコントロール

英語: <https://support.apple.com/en-us/HT201304>

日本語: <https://support.apple.com/ja-jp/HT201304>

ペアレンタルコントロールのための他社製アプリやソフトウェアソリューション

Apple以外のソリューション:

<https://screentimelabs.com/>

<https://kidslox.com/en/>

<http://ourpact.com/>

アオバジャパン・インターナショナルスクールICT 利用規定に関するご質問、ご意見、ご懸念については、アオバIT部門 (ict@aobajapan.jp)までご連絡ください。

採択: 2019年

学校指導者による見直し: 2021年6月2日

教員による見直し: 2021年6月7日

学校指導者による認可: 2021年6月11日